月刊アグリ情報“ちば”　令和４年10月15日発行（毎月１回15日）　通巻第148号

アグリ情報ちば

Agri Information CHIBA

2022
10
No.148

JA全農ちば

チバテレ「モーニングこんぱす」で千葉県産新米をPR！（9/12～16）
番組お天気担当の坂井美萌々さんが収穫も体験し、新米の魅力を届けました。

私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。

「モーニングこんぱす」
㈪～㈮　6:45～8:00放送

CONTENTS

全農自己改革
- 肥料高騰に向けた取り組み

営農情報
- 園芸野菜　病害虫防除情報
- 安全な農作物生産の取り組みについて
  ～農薬散布機は毎回洗浄しましょう～

園芸情報
- 販売経過および情勢

米麦情報
- 米麦情勢

肥料情報
- 稲刈り後の水田管理について

資材情報
- 生分解性マルチによる省力化と作業体系の効率化

トピックス
- 企業とコラボし千葉県産農産物をアピール！
- 学び実る落花生
  農業大学校学生が初の落花生生産から販売までを目指す！

お知らせ
- イマだから知っておきたい！「食料安全保障」ってなぁに!?

月刊アグリ情報“ちば”令和４年10月15日発行（毎月１回15日）通巻第148号

食と農を未来へつなぐ

全農自己改革の取組状況
肥　料　事　業

肥料高騰に向けた取り組み

肥料原料の国際市況が **大幅に上昇** しています！

エコレットなど **国内地域資源** を使用した肥料や堆肥を上手に使用して施肥コスト削減に努めましょう！

エコレットとは？

おすすめ！

堆肥 と **普通肥料** がひとつになった **高機能な有機肥料** です。

海外市況に影響されにくく **価格が安定**

国内未利用資源の活用で **低コスト**

堆肥使用で **地力維持**

N	P	K
8	10	8

豚ぷん**堆肥約50%**使用
有機態チッソ1.5%
◆バランスの取れた成分設計
◆野菜から花、果樹まで、さまざまな作物に適用可能!

N	P	K
12	10	8

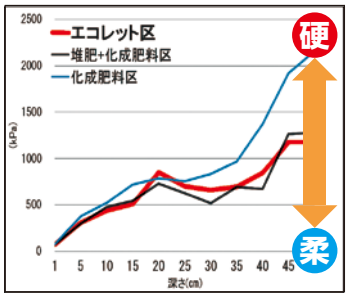
Mn：0.2%　B：0.1%

豚ぷん**堆肥約40%**使用
有機態チッソ1.3%
◆キャベツやレタス、トウモロコシやブロッコリーなどにおすすめ。

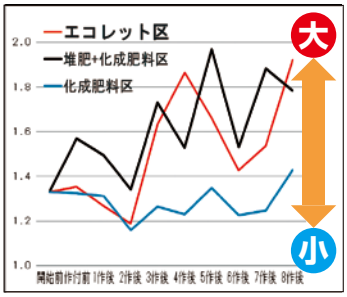
土づくり（物理性・化学性改善）の効果！

4年間のエコレット連用試験結果

「エコレット区（堆肥換算300kg/10a･年）」
「堆肥（1t/10a･年）+化成肥料区」「化成肥料区」を設け、
それぞれ4年（10作）連用した際の土壌物理性･化学性を比較した。



【図表１】土壌物理性（硬度）



【図表２】可給態窒素蓄積量

エコレット区は土壌物理性(硬度)･可給態窒素蓄積量ともに**堆肥+化成肥料区と同等**の結果となった。

根張りが向上！

ブロッコリー

化成肥料区

エコレット区

エコレット区は**根張り**が**良好**で毛細根も多い。エコレットの**土づくり効果**により、根張りの向上が期待できる。

詳しくは、最寄りのＪＡにお問い合わせください

営農情報

園芸野菜　病害虫防除情報

1．はじめに

10月は気温が高く、日照時間は少なくなる予報です（10月６日気象庁発表）。害虫も病害も発生しやすい環境になりますので、圃場を注意深く観察し、早期防除を行いましょう。

また、台風の発生・接近が多くなっています。気象予報に留意して事前対策を心がけましょう。

2．トマト（コナジラミ類・葉かび病・すすかび病）

(1)　コナジラミ類

県内では、オンシツコナジラミ、タバココナジラミが発生しています。これらは共通して黄化病ウイルス（ToCV）を、タバココナジラミは黄化葉巻病ウイルス（TYLCV）を媒介します。千葉県による病害虫発生予報第６号（令和４年９月20日発表）では、これら両種および黄化葉巻病の今後の予想発生量が「多」となっています。早めの防除を行いましょう。

タバココナジラミ成虫

○トマト　コナジラミ類　防除薬剤

薬剤系統	IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
マクロライド系	6	アファーム乳剤	2000	収穫前日まで	５回以内
		アグリメック	500～1000		３回以内
ネオニコチノイド系	４Ａ	ベストガード水溶剤	1000～2000		３回以内
スピノシン系	5	ディアナＳＣ	2500		２回以内
ジアミド系	２８	ベネビアＯＤ※	2000		３回以内
メタジアミド系	３０	グレーシア乳剤	2000		２回以内
その他①	９Ｂ	コルト顆粒水和剤	4000		３回以内
その他②	４Ｃ	トランスフォームフロアブル	1000～2000		２回以内

※薬害の可能性があるためアミスター等のQoI剤との混用・隣接散布は避ける

(2)　葉かび病・すすかび病

湿度が高い状態が続くと、これらの病害が発生しやすくなります。病原菌の感染から発病までは14日程度かかるため、下葉の発病が見られたら数段上の葉まで感染している恐れがあります。すでに発生が見られる場合は治療剤を加えたローテーション防除するとともに下葉かき等による株元の通風をはかりましょう。

すすかび病の病斑

○トマト　葉かび病・すすかび病　防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数	備考
葉かび・すすかび	M7	ベルクートフロアブル	2000	収穫前日まで	３回以内	予防
	7	アフェットフロアブル	2000		３回以内	予防
	3	トリフミン水和剤	3000		５回以内	予防･治療
	11	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000		３回以内	予防･治療
葉かび	11	アミスター20フロアブル	2000		４回以内	予防･治療
葉かび・すすかび	7+11	シグナムWDG	2000		２回以内	予防･治療

※登録のうち最大濃度を示す（例：2000～3000倍登録→2000）

3．キャベツ（菌核病）

菌核病の病斑

菌核病は、結球はじめの頃、地面に近い下葉の基部に水浸状病斑を出しながらしおれます。病斑はやがて結球に進展し、全体が柔らかくなります。発病部には写真のような白いかびを生じることがあります。秋雨の時期に発病が増えるため、**今月は重要な防除時期**です。薬剤散布は、葉裏（株元）付近にも薬液がかかるよう丁寧に行いましょう。

○キャベツ　菌核病　防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数	備考
菌核病	12	セイビアーフロアブル20	1000	収穫３日前まで	３回以内	予防
	2	ロブラール水和剤	1000	収穫７日前まで	４回以内	予防･治療
	11	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000	収穫３日前まで	３回以内	予防･治療

※登録のうち最大濃度を示す（例：2000～3000倍登録→2000）

4．ねぎ（さび病・べと病・黒斑病）

さび病の病斑

病害は多湿条件を好むため、降雨前には予防効果、降雨後は治療効果を持つ剤を使用しましょう。また、夜間にもや・霧が発生する時期は病害多発の恐れが高まります。**天候に留意しながら防除**を行いましょう。

(1)　さび病

オレンジ色の隆起した斑点が生じます。一度発生してからでは防除が困難な病害のため、予防主体の防除を行い、病斑が見られたら直ちに治療剤の散布に切り替えましょう。

べと病の初期病斑

(2)　べと病

葉身が黄色くぼやけ、表面にはやがて灰暗色のカビが見られます。さらに進展すると、被害部から葉が折れてしまいます。多湿圃場では被害の急拡大に注意が必要です。

黒斑病の病斑

(3)　黒斑病

葉身に輪紋状の黒色病斑が生じ、やがて被害部から葉が折れてしまいます。多湿環境のほか、樹勢が低下すると発生が助長されます。

○ねぎ　さび病：さ　べと病：べ　黒斑病：黒　防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数	備考
べ	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000	収穫14日前まで	３回以内	予防･治療
	4+M3	リドミルゴールドＭＺ	1000	収穫14日前まで	３回以内	予防･治療
さ・べ・黒	11	メジャーフロアブル	2000	収穫前日まで	３回以内	予防･治療
		アミスター20フロアブル	2000	収穫3日前まで	４回以内	予防･治療
さ・黒	M7	ベルクート水和剤	2000	収穫30日前まで	３回以内	予防
	3	オンリーワンフロアブル	1000	収穫14日前まで	３回以内	予防･治療
黒	2	ロブラール水和剤	1000	収穫14日前まで	３回以内	予防･治療

※登録のうち最大濃度を示す（例：1000～1500倍登録→1000）

営農情報

安全な農作物生産の取り組みについて
～農薬散布機は毎回洗浄しましょう～

１．はじめに

農薬残留基準超過の原因別発生件数の第１位は適用外使用（作物登録なし）となっており、以下は周辺圃場または同一ハウス内隣接作物からのドリフト、使用基準違反（使用時期・使用回数・使用方法）、**農薬散布機・タンク・ホースの洗浄不足・不洗浄**、過去使用農薬の土壌残留の順となっています（日本GAP協会調べ：2006年１月～2015年12月、報道資料および公表された違反事例による）。今回は、農薬散布機の洗浄についてご紹介します。

２．農薬散布機洗浄の重要性

一般的に農薬散布機は複数の作物に使用されます。農薬散布後の洗浄が不十分だと、散布機内に微量の農薬が残ってしまい、次回別の作物に農薬を散布した際に予期していない適用外の作物にかかってしまう恐れがあります。農薬はごく微量でも適用外の作物に散布した場合、残留農薬が基準値を超過するリスクが非常に高くなります。**農薬残留基準超過は食品衛生法違反です。最悪の場合、農産物の出荷停止や回収に繋がりますので、農薬散布機の洗浄は使用の都度行いましょう!!**

３．農薬散布機の洗浄のしかた

セット動噴の場合

❶タンク内の洗浄

水を溜めてよく揺する！

❷ストレーナーの洗浄

目詰まりが無いかよく確認！

❸ホース内の洗浄

３回以上通水！

背負い動噴の場合

❶タンク内の洗浄

❷フィルターの洗浄

❸ホース内・ノズルの洗浄

農薬散布後は必ず洗浄しましょう!!

園芸情報

販売経過および情勢

青果物　９月の販売経過

９月は暖かい空気が流れ込み、全国的に気温が高くなりました。降水量は沖縄・奄美で台風の影響を受けたことでかなり多くなりました。北日本日本海側が高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間はかなり多くなりました。

９月の東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は、前年同月比で104％となりました。

関東甲信地方では大きな天候被害がなかったため、レタスやなす、はくさい等は前年を上回る入荷量でしたが、北海道・東北地方は大雨による影響があり、だいこんやにんじん、さといも等は前年を下回る入荷量でした。

単価は前年同月比で93％となりました。

前年より入荷が多かったはくさい、レタス等は前年を大幅に下回った一方、入荷が少なかったにんじん、だいこん等は前年を大幅に上回りました。

国産果実の入荷量は前年同月比で112％となりました。

ももやなしは前年を大幅に上回る入荷量でしたが、天候不順の影響を受けたみかん類やぶどう類は前年を下回る入荷量でした。

単価は前年同月比で94％となりました。

前年を大幅に上回る入荷量となったなしは前年を下回った一方、入荷量が少なかったみかん類は前年を上回りました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜入荷量および単価（９月）

	数量		単価	
	（ｔ）	前年比（%）	（円／kg）	前年比（%）
上旬	43,949	114	268	98
中旬	37,838	113	267	87
下旬	39,004	89	261	93
月計	120,791	104	265	93

ＪＡ全農ちばの販売状況（９月）

	数量		単価		取扱額	
	（ｔ）	前年比（%）	（円／kg）	前年比（%）	（百万円）	前年比（%）
野菜計	7,284	106	331	96	2,411	102
果実計	2,754	146	312	99	859	145
ほうれん草	57	92	626	95	36	87
ねぎ	138	122	456	104	63	127
パセリ	11	146	1,587	106	17	154
きゅうり	325	140	244	78	80	109
トマト	1,706	108	377	91	643	99
さつまいも	2,842	105	240	98	683	103
さといも	472	82	273	101	129	83
なし	2,463	154	317	100	782	154

10月主要品目
作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	＋10%以上
やや多・やや高	＋５%～10%
並	±５%以内
やや少・やや安	－５%～10%
少・安	－10%以上

入荷量・価格は東京都中央卸売市場の集計です

品名	入荷量（t）		単価（円／kg）		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	やや多	17,069	やや安	77	群馬 千葉 岩手 茨城	群馬の生育は概ね順調で中旬まで潤沢な出荷を見込む。後続の茨城・千葉の生育も順調で中旬以降増量となり、全体量は前年に比べやや多く、単価はやや下回る見込み
だいこん	やや多	10,629	やや高	91	青森 北海道 千葉	中旬までは先行産地が不作の影響から前年を上回る販売となるものの、下旬以降青森・千葉の増量から軟調な展開を見込む。全体での単価は前年をやや上回る見込み。
にんじん	やや少	9,010	やや高	76	北海道	北海道は８月の雨と高温の影響から一部で生育不良が見られたが徐々に回復。中旬以降出荷量は漸減し、単価は後半に向けて底上げとなり、前年をやや上回る見込み。
トマト	やや多	5,825	やや安	398	北海道 千葉 熊本	北海道等の前段産地の残量が一定量あり、後続の千葉・熊本の生育が概ね良好なことから前年をやや上回る出荷量となる見込み。単価は前年をやや下回る見込み。
きゅうり	並	5,767	やや高	268	群馬 埼玉 福島	北関東産抑制作の生育は概ね良好で平年並みの入荷見込み。月後半は東北産が減少し、月全体では前年並みの入荷を見込む。単価は安値の前年をやや上回る見込み
ねぎ	並	4,934	やや高	260	青森 秋田	雨による品質低下は回復するが上旬までは東北の稲刈りの影響で出荷量は少ない。中旬からは増量し、販売は軟調な展開となるが、単価は前年をやや上回る見込み。
ほうれん草	並	1,459	並	498	群馬 茨城 栃木	関東産を中心とした販売。各地生育は順調で出荷量は多かった前年並みの潤沢な出荷が見込まれる。単価は前年並みだが平年をやや下回る見込み。
パセリ	やや少	38	やや高	1,439	長野 千葉	秋冬作の出荷が開始される時期を迎えるが、長野は台風の影響で出荷量は減少することから全体量は前年をやや下回る見込み。単価は前年をやや上回る見込み。
さつまいも	やや多	3,105	並	285	千葉 茨城	不安定な天候から形状不良が目立つ。太物傾向のため、出荷量は前年を上回る見込みだが、気温の低下により引き合いも出てくるため単価は概ね前年並みを見込む。

花　販売情勢

◆９月の販売経過【切花】

前年は、各産地で大きな前進や遅れもなく安定した入荷となりましたが、緊急事態宣言下であったことから業務用需要の動きが鈍く、品目によって価格差のある販売となりました。本年は、高温や天候不順等の影響から入荷量が安定しないなか、上旬は重陽の節句・十五夜商材としてススキやリンドウなどを中心に安定した取引となりました。中旬になると、秋彼岸商戦に向け輪菊・小菊等の菊類やリンドウの需要が高まりましたが、台風14号にともなう降雨と風の影響から仕入れを控える店舗も多く、彼岸入りはやや鈍い荷動きとなりました。一方で、２週続きとなる３連休の影響を受けて、ブライダル関連は件数が多く、洋花は活発な動きとなり単価高で推移しました。

◆今後の見通し（11月）【切花】

例年、11月は各品目において高冷地と暖地の端境期となります。本年は品目によっては高冷地産の切り上がりが早く、また、９月中旬の台風により九州・四国地方の生育状況にも影響がみられるため、上旬は入荷が不安定となることが懸念されます。輸入品についても、円安と輸送コスト増加の影響から数量が大きく回復する目途が立っていないため、花き全体で入荷量はまとまらず、11月のブライダル商戦においては洋花中心に活発な取り引きとなる見込みです。

◆今後の見通し（11月）【品目別】

品　名	作　柄　お　よ　び　概　況
ア　イ　リ　ス	新潟を主力に千葉などの出荷。 新潟は10月下旬から出荷が始まり、11月から各地区の出荷が出揃う見込み。 千葉は11月下旬頃から徐々に出荷が開始となる見込み。
カーネーション	千葉・愛知・静岡・長崎などの出荷。 高冷地は終盤となり、暖地から出荷が始まるものの下位等級の発生が多く見込まれる。 国産の端境に加え、輸入品は円安の影響からコスト高となっているため入荷量は平年を下回る見込み。
トルコキキョウ	熊本・長崎・静岡などの出荷。 九州の一部地域にて台風の影響から定植遅れが見られるものの、中下旬にかけて白・ピンク系を中心に数量のまとまりが見込まれる。 ブライダル需要を中心とした動きが見込まれる。
鉄　砲　ユ　リ	岐阜・鹿児島・宮崎・高知などの出荷。 上旬までは岐阜中心の出荷となるものの、中旬以降は鹿児島・宮崎も出荷が始まる見込み。 各産地ともに数量がまとまるのは下旬以降を見込む。

米麦情報

米　麦　情　勢

１．令和４年産米農産物検査結果について

（農林水産省　９月30日公表）

(1)　全国概況

８月31日現在の全国の検査数量は、水稲うるち玄米で217.6千トン、水稲もち玄米で7.8千トン、醸造用玄米で1.0千トンとなっております。

水稲うるち玄米の217.6千トンは、同時期の３年産米の検査数量の108％に相当する数量です。

品質面では、８月31日現在の水稲うるち玄米の１等比率は68％と、３年産米同時期と比べて低くなっており、２等以下に格付けされた主な理由は形質（充実度や心白、腹白等）や着色粒、整粒不足によるものとなります。

●農産物検査数量（８月31日現在）

（単位：千トン）

種類＼年産			４年産	対前年同期比（％）	対前々年同期比（％）	３年産	２年産
玄米	うるち	水稲	217.6	108.2	96.6	201.2	225.3
		陸稲	—	—	—	—	—
		醸造用	1.0	214.2	142.1	0.5	0.7
	もち	水稲	7.8	128.1	169.1	6.1	4.6
		陸稲	—	—	—	—	—
	計		226.4	109.0	98.2	207.7	230.5

●農産物検査品質概況（８月31日現在）

農産物検査結果	４年産	３年産	２年産	元年産	30年産
１等比率（％）	68.0	76.1	74.3	67.8	69.1
年産最終（翌年10月31日）	—	83.1	79.8	73.0	80.3

※３年産の最終は、４年３月31日現在（速報値）

(2)　千葉県概況

８月31日現在の千葉県の検査数量は、水稲うるち玄米で58,313トン、水稲もち玄米で5,437トン、醸造用玄米で29トンとなっております。

水稲うるち玄米の58,313トンは、同時期の３年産米の検査数量の89%に相当する数量です。検査数量が減少している大きな要因として、飼料用米をはじめとした水田活用米穀への転換が進んだことが挙げられます。

品質面では、８月31日現在の水稲うるち玄米の１等比率は89%と、全国と比べて高い比率となっておりますが、県産の３年産米同時期と比べると低くなっている状況です。

●千葉県農産物検査数量（８月31日現在）

（単位：トン）

種類 ＼ 年産			４年産	対前年同期比（％）	対前々年同期比（％）	３年産	２年産
玄米	うるち	水稲	58,313	88.4	80.7	65,903	72,183
		陸稲	—	—	—	—	—
		醸造用	29	103.6	100.0	28	29
	もち	水稲	5,437	117.6	150.0	4,622	3,624
		陸稲	—	—	—	—	—
	計		63,779	90.4	84.1	70,553	75,836

●千葉県農産物検査品質概況（８月31日現在）

農産物検査結果	４年産	３年産	２年産	元年産	30年産
１等比率（％）	89.2	94.2	94.8	91.9	93.7
年産最終（翌年10月31日）	—	90.2	90.9	83.0	92.1

※３年産の最終は、４年３月31日現在（速報値）

2．令和４年産米消費拡大の取り組み

千葉の未来を担う子どもたちに、将来も「千葉県産のお米」に対して思い入れ・思い出を感じてもらえるような取り組みとして「ユメトコメキャンペーン」を実施しています。

キャンペーンを通じて、「志望校へ合格したい！」「スポーツ大会の優勝を目指している！」といった子どもたちの「夢」を千葉の新米「粒すけ」で応援いたします。

千葉県在住・在学の方を対象に「きみの夢」を大募集いたしますので、奮ってご応募ください。

応募要項

募集内容　千葉県在住・在学の「きみの夢」を幅広く募集します。
「志望校へ合格したい！」「スポーツ大会の優勝を目指している！」
「こんな職業に就きたい!」など、今目指している夢や目標を教えてください。

応募資格　叶えたい「夢」がある、県内に在住・在学の 22 歳未満の方

賞品　金賞 千葉県産「粒すけ」新米　1 俵（60kg）　5 名様
銀賞 千葉県産「粒すけ」新米　10kg　70 名様

結果発表　ご応募いただいた方の中から厳正なる抽選で受賞者を決定します。
当選した方に限り、令和 4 年 11 月中旬頃にメールにてお知らせします。
なお、金賞の受賞者は贈呈式を実施します。
贈呈式は 11 月下旬～ 12 月上旬頃に実施予定です。実施日程と詳細は別途当選のお知らせの際にお伝えいたしますので、ぜひご参加ください。

金賞 5 名様 贈呈式ご招待

募集期間　令和 4 年 11 月 10 日（木）まで

応募方法　特設 WEB サイトの専用フォームに必要事項を入力してご応募ください。
https://www.yumetokome.jp　ユメトコメ

お問い合わせ先
TEL 043-201-8811　平日 10 時～ 17 時　info@yumetokome.jp
ユメトコメキャンペーン事務局（株式会社オニオン新聞社内）
千葉県千葉市中央区中央3丁目3−1 フジモト第一生命ビル 5F

3．千葉県産麦の安定生産にむけて

10月下旬から令和４年まき麦種子の配布が始まります。播種期における麦栽培のポイントをご確認いただき、千葉県産麦の品質・収量の安定にむけて、ご協力をお願いします。

★播種期における麦栽培のポイント

(1)　排水対策の徹底（播種前）

麦は湿害に弱い作物です。排水溝（明渠）の設置や弾丸暗渠の施工、サブソイラ等を使用した心土破砕を実施しましょう。

(2)　適期播種

「さとのそら」、「カシマムギ」の播種適期は11月上旬～中旬になります。

早すぎると過繁茂による病害発生や倒伏を受けやすくなり、遅すぎると穂数不足等による収量減につながります。

(3)　施肥管理

基肥窒素は６～８kg /10ａを施用してください。

※生育状況によって２～４kg /10ａの窒素追肥を施用してください。
追肥の施用時期は茎立期約10日前（11月上旬播種で３月上旬）が効果的です。

4．令和４年産千葉米食味コンクールの開催について

千葉米食味コンクールの対象銘柄に「粒すけ」の部を新たに設けました。
皆さまが真心込めて作った美味しいお米を出品してみませんか。
応募締切は10月28日までとなっております。
応募要件は下記のとおりです。

応募期間	令和４年 **９月１日(木)～10月28日(金)**
対象銘柄	(1)　**千葉県産コシヒカリ**　　(2)　**千葉県産粒すけ**
出品資格	ＪＡ組合員 および 個人情報の開示に同意する生産者
出品基準	・粒選別機の網目幅1.8㎜以上で選別された米穀とします。 ・仕上げ水分15.0%以下に調整された米穀とします ・整粒歩合70％以上のものとします。 ・生産履歴記録簿の提出を必須条件とします。
出品方法	・生産者１人１点とします。（１人で２銘柄の応募は受付できません） ・１点につき玄米５kgを提出願います。 ・出品された玄米の返品はありません。
審　　査	ＪＡ全農ちばの審査結果にもとづき、各部門につき上位４位まで、褒章を授与します。

ご出品は 最寄りのＪＡ を通じてお願いします。

肥料情報

稲刈り後の水田管理について

稲刈り後は「**ケイ酸**」が不足しています！
稲わらの腐熟とケイ酸質資材の施用でしっかりと補給しましょう。

※玄米収量が約600kg/10aの場合の一例

水稲に必要な ケイ酸量は **約120kg／10a**	－	稲わら、灌漑水等から 天然供給されるケイ酸量は **約80kg／10a**	＝	差し引きして不足する ケイ酸をケイ酸質資材で 補給しましょう

稲わらの腐熟促進のポイント

稲わらを腐熟させる微生物が活動的に動ける環境をつくる

- 温度の確保：微生物が活動しやすい暖かい秋のすき込み
- 窒素の施用：稲わらを分解する微生物の増殖を促進
- 石灰の施用：微生物が活動しやすい土壌pHへの改善
- 酵素の施用：稲わらを柔らかくし微生物が分解しやすい状態にする

ケイ酸補給のポイント

- 稲体を丈夫にすることで、病害に対する抵抗性を強める
- 根張りの環境を改善し、倒伏や秋落ち現象の軽減が期待できる
- 水分のムダな蒸散を抑え、干害などによる葉身の老化を防ぐ
- 光合成能力の向上による、白未熟の軽減など品質向上が期待できる

稲わらの腐熟促進のお薦め資材

資材名	施用量（10a）	特　長
石灰窒素	10～20kg	窒素成分が土壌微生物の増殖を促し、腐熟を促します。石灰分が土壌酸性化を防ぎ、土壌微生物が働きやすい環境を維持します。
アグリ革命アクア	100㎖	酵素により稲わらの繊維を柔らかくし、腐熟しやすくなります。
アグリ革命	2kg	

お薦めケイ酸質資材

資材名	施用量（10a）	特　長
農力アップ	60～100kg	溶出率の高いケイ酸質資材です。 鉄やマンガンが硫化水素ガスの発生を抑えます。

詳しい使い方については最寄りのＪＡまたは千葉県農業事務所にお問い合わせください

資材情報

生分解性マルチによる省力化と作業体系の効率化

生分解性マルチとは、使用後はロータリー耕等で土中にすき込むことで、土中微生物の働きにより、最終的に水と二酸化炭素に分解される資材のことです。

圃場での重労働である収穫前後のマルチの剥ぎ取り作業は不要となります。したがって、廃プラスチック処理が不要となるため、生分解性マルチは『省力化資材』であり『環境にやさしい資材』です。

１．生分解性マルチの普及状況

生分解性マルチの利用は省力化が評価され、平成25年度から令和２年度までの７年間で樹脂出荷量・被覆面積ともに２倍以上増加しています。

全国の普及状況は次のとおりです。

	平成25年度	平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
国内生分解性マルチ樹脂出荷量(t)	1,814	2,286	3,043	3,416	3,606	3,822
国内生分解性マルチの被覆面積（ha）	5,815	6,311	8,756	10,217	11,660	12,413

※ABA（農業用生分解性資材普及会）公表数値より

２．生分解性マルチ導入のメリット

⑴　マルチ剥ぎ取り作業からの開放

収穫後はそのまま土中にすき込むことができるので、マルチ剥ぎの重労働から開放されます。また、繁忙期は収穫後の片付けと次の作付け準備が重なりますが、生分解性マルチを導入することで、片付けの手間と時間を削減でき、規模拡大が可能になったといった事例も報告されています。

⑵　廃プラスチックの削減

生分解性マルチを使用した場合は、通常のポリマルチで発生する廃プラスチックの梱包、運搬の手間や処理料がかかりません。

導入を検討する際には、単に生分解性マルチの価格と通常のポリマルチの価格を比較するのではなく、年間を通じた作業体系や労働時間の配分を含め、ご検討いただく必要があります。

３．ＪＡ全農ちばの主要取扱銘柄

「**きえ太郎Ｚ**」、「**カエルーチ**」、「**キエ丸**」、「**サンバイオ**」を取り扱っています。

お問い合わせは最寄りのＪＡまたはＪＡ全農ちば資材課（043－245-7379）へご連絡ください

TOPICS

企業とコラボし 千葉県産農産物をアピール！

ＪＡ全農ちばは、９月15日(木）に千葉県ならびに東京青果㈱と協力し、㈱ＮＥＣ本社の社員食堂へ千葉県産農産物を提供し、ＰＲ活動を実施しました。

このフェアは、今年で２年目を迎えます。旬の千葉県産農産物を使ったメニューを提供し、社員の方々に召し上がってもらうことで、千葉県産農産物の更なる認知度向上と消費拡大に繋げることを目的としており、㈱ＮＥＣ社員から高い評価を得ています。

旬である梨(豊水とあきづき)と里芋をメイン食材とし､「具だくさん豚汁定食」とデザートの梨を添えて社員に振る舞われました。また、新たに今回は食堂に隣接している物販コーナーで千葉県産の梨、精米「粒すけ」、落花生を販売し、千葉県フェアを盛り上げました。

昨年は２回の開催でしたが、今年は計４回の開催を予定しています。また、本社ビルの社員食堂では、昨年のフェアから「粒すけ」を継続して使用していただいています。

ＪＡ全農ちばは、関係機関と連携し、今後も千葉県産農産物のＰＲに継続して取り組んでまいります。

メニューのサンプル

物販コーナー

TOPICS

学び実る落花生　農業大学校学生が 初の落花生生産から販売までを目指す！

ＪＡ全農ちばは、千葉県立農業大学校の模擬会社と連携し、今年の５月下旬に同校の圃場で播種した落花生の収穫を９月21日(水）に行いました。

同校の学生たち20名は、約５ａを生分解性マルチごとトラクターで掘り起こした後、地干し作業を行い、10月５日にぼっち干しを行いました。収穫後は地元のＪＡ山武郡市に出荷して製品化・販売する予定です。

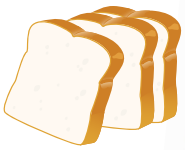
手際よく地干し作業をすすめる学生の皆さん

模擬会社社長で同校研究科２年の長澤光輝さんは、担い手不足が課題となる中「目先の利益にとらわれずに仲間たちと切磋琢磨して経験を積めるのが模擬会社の醍醐味。若い世代が真剣に農業に向き合っていることを知ってもらい、何らかの刺激になれたら」と頼もしく語りました。

ＪＡ全農ちばは、模擬会社との取り組みを通じて農業者の育成を支援するとともに、落花生の集荷数量拡大や生産振興、消費拡大のＰＲへ繋げていくほか、農作業の省力化を目指します。

今回の播種時に使用した生分解性マルチは土壌中で分解されるため、収穫前に剥ぎ取る必要がありません。農作業の労力が軽減されるほか、廃プラスチックの処理も不要となります。

ＪＡグループ千葉統一広報



イマだから知っておきたい！「食料安全保障」ってなぁに!?

コロナパンデミックに続きロシアのウクライナ侵攻が、食料・肥料原料の価格高騰と飢餓の深刻化を招き、各国の食料安全保障を脅かしています。報道でも耳にするようになった「食料安全保障」は、どのようなカタチでわたしたちの暮らしに関わってくるのか、この機会に是非学んでみてください。

《01 ～「食料安全保障」は日本だけの問題ではない！知っていますか？世界の食料安全保障～ 国際社会における「食料安全保障（Food Security）」の概念

「食料安全保障」とは

全ての人が、いかなる時にも、活動的で健康的な生活に必要な食生活上のニーズと嗜好を満たすために、十分で安全かつ栄養ある食料を、物理的、社会的及び経済的にも入手可能であるときに達成される状況をいいます。

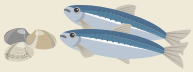
知っていますか？「食料安全保障の４要素」

出典：国連食糧農業機関（FAO）資料

供給面（Food Availability）
適切な品質の食料が十分な量供給されているか？

アクセス面（Food Access）
栄養ある食料を入手するための合法的、政治的、経済的、社会的な権利を持ちうるか？

利用面（Utilization）
安全で栄養価の高い食料を摂取できるか？



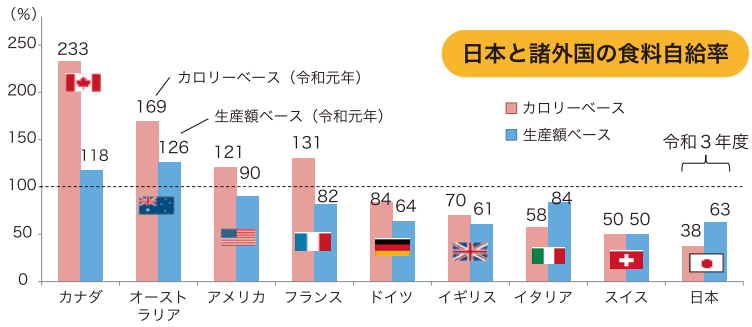
安定面（Stability）
いつ何時でも適切な食料を入手できる安定性があるか？

《02 ～予測不能な事態を想定した備えと食料安定供給に向けた労働力確保など課題は山積～ 日本における「食料安全保障」の現状とこれから

食料の安定供給強化と食料政策の全体構想を見直し

ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、食料・肥料の多くを輸入に依存する日本の危うさが浮き彫りになりました。国民への食料の安定供給を確保するために、政策を抜本的に見直すタイミングが来ています。日本は食料自給率が３８％と世界の主要各国の中では著しく低い水準です。

農林水産省の食料安保に関する検討チームは、米や麦、大豆、野菜などほとんどの品目で肥料原料の輸入減や価格高騰、労働力･後継者不足を「重要なリスク」と位置付け施策を検討するとしています。また、政府は農政の憲法を定めた食料･農業･農村基本法を見直すための作業を秋にも開始します。



食料の安定供給をはかる３つの柱

- 国内の農業生産の拡大（基本）
- 安定的な輸入
- 備蓄の活用

←農林水産省「食料需給表」、FAO “Food Balance Sheets” 等を基に農林水産省で試算。（アルコール類等なはい含まない）/ 数値は暦年（日本のみ年度）。スイス（カロリーベース）及びイギリス（生産額ベース）については、各政府の公表値を掲載 / 畜産物及び加工品については、輸入飼料及び輸入原料を考慮して計算。
※農林水産省「令和３年度 食料自給率・食料自給力指標について」より

《03 ～わたしたちの食料を未来につなぐために「国消国産」JAグループ統一運動を展開～ 「国消国産」～国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産する～

全ての食料を国内で生産することは現実的ではありません。しかし、国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産するという「国消国産」という考え方は、我が国として大切なテーマです。このテーマを実現するには、生産者だけではなく、国民全体の理解が必要です。JAグループは「国消国産」の国民理解醸成を進めています。

笑味ちゃん
©みんなのよい食プロジェクト

～生産者だけではなく、国民全体で考える「食料安全保障」～ JAグループ千葉

お知らせ

ＪＡ全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。

身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る個人情報の取り扱いについて

組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

JA全農が提供するラジオ番組

Tokyofm Life time audio 80.0

全国 ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN
13:00～13:55 毎週(土) 生放送
全国の農畜産物をプレゼントします。

15:50～16:00 毎週(木)
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

23:00～23:06 毎週(木)
農業について一緒に楽しく学びましょう。

発行／全国農業協同組合連合会千葉県本部　令和４年10月15日発行（毎月１回15日発行）　通巻第148号
編集・発行部署／管理部　企画広報課　〒260-0031　千葉市中央区新千葉３－２－６　電話043－245－7360　FAX043－247－9715

JA全農ちば 公式HP
https://www.zennoh.or.jp/cb/

JA全農ちば 公式Instagram